

東北応援ツアーレポート

C.岩手県コース

1969年 経済卒業 中尾 修

東北応援ツアーの企画は4年目になるとお聞きしたが、どう云う訳か今まで知らずにいました。今回の案内を目にした時は、本当に応援になるのかどうか判断できずに躊躇していたのが正直なところでした。

結果的には、参加して見聞が広げられ、改めて現地の様子を知ることができ、またご当地の方々にも歓迎され、おまけに観光まで楽しめたことに大変満足しています。

印象に残ったのは、「奇跡の釜石」の逸話でした。子供たちを指導された群馬大学の先生、素直に学んだ小学生の行動のお話しには感激しました。また、本当に追い詰められたら笑うしかないというお話しや、公務員としての務めの厳しさ、人生で2回も大津波を経験し40年間も津波の夢を見続けた・・・というような体験談からは、TVの画面からだけでは分からない被災の実態や、物理的な被害だけでなく心の中にもずっしりと重いものを遺したことなどがひしひしと伝わってきました。

ツアーの心構えの中で教えていただいた「被災地でのお買い物は地元経済の活性化に繋がります。地元製品の購入や御食事などをしていただき、復興へのご支援をお願いします。」という言葉は、私のもやもや気分をスッキリさせてくれました。帰宅してお土産を見せながら家族にも話し、知り合いにも同じことを伝えていきます。

次にこのような企画がありましたら、また参加できればと願っています。ご尽力をいただいた地元の校友の皆様や大学関係者にはこの場を借りましてお礼申し上げます。